

土壌採取方法

人為的な影響が生じていない（掘返されたり、雨水流入による濃縮がない）場所の土壌を採取する。（写真1）



写真1

支給の園芸用植付器（写真2）を用いて10カ所から採取。



写真2

線量が高い場所では手袋とマスクを着用する。

採取器の内側5センチの線まで地面に挿し込む（写真3）



写真3



写真4

採取器を回転させ、採取土を地面から切断させる（写真4）

地面から採取土を切断するのが目的なので回転方向はどちらでも可。



写真5



写真6

掘り起こす（写真5）

採取器の取手の黄色いレバーを押して採取器の先を開き、採取土を取り出す。（写真6）

10カ所分の採取土は2重にしたポリ袋に入る。



写真7



写真8

採取土壌から草木や石を取り除く（作業性によりふるいの使用も可）土壌が飛び散るので新聞紙などを敷く（写真8・9）



写真9



写真10

草木や小石を取り除いた土壌全てをポリ袋に戻し、採取した土壌の重量を計測する。（写真10）

採取場所、採取日、採取者、土壌の重量および利用形態（例えば庭、畑など）をできるだけ詳しく記入し、採取土壌に添付する。